

## 5 生命のつながり③植物の実や種子の作り方（指導時期 9月・7時間）

★：その学年で特に育成を目指すべき問題解決の力を意識した内容です。

◆：その時間で学習する活動内容です。

単元の目標

結実の様子に着目して、それに関わる条件を制御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の結実とその条件についての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。

●花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができること。

●植物の育ち方について追究する中で、植物の結実とそれに関わる条件についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現すること。

小単元	時	学習内容	観点別評価規準例
1 花のつくり	1	○植物の育ち方を思い出し、花と実について気付いたことを話し合う。 ○花は、どのようなつくりになっているかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○花のつくりを他の花と比べながら調べる。 ◆ 観察 1	【態度】 植物の結実についての事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
	2		【思・判・表】 植物の結実について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
2 受粉の役わり	3	○顕微鏡の使い方を知る。 ○花粉の様子を調べる。	【知・技】 植物の結実について、観察、実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録している。 〈行動観察・記録分析〉
	4	○アサガオの花粉は、いつおしべからめしべに付くのかを調べる方法について、計画を立てる。 ★ 計画 ○花が開く前と後のおしべとめしべを比べながら調べる。 ◆ 観察 2	【思・判・表】 植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

5 6	<p>○受粉すると、花にはどのような変化が起こるのかを調べる方法について、計画を立てる。</p> <p>★ 計画</p> <p>○受粉させた花と受粉させなかった花の変化を、条件を整えて調べる。</p> <p>◆ 実験</p>	<p><b>【思・判・表】</b></p> <p>植物の結実について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。</p> <p>〈発言分析・記述分析〉</p> <hr/> <p><b>【知・技】</b></p> <p>花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることを理解している。</p> <p>〈発言分析・記述分析〉</p>
7	<p>◎「確かめよう」、「学んだことを生かそう」、「ふり返ろう」を行う。</p>	<p><b>【態度】</b></p> <p>植物の結実について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。</p> <p>〈行動観察・発言分析・記述分析〉</p>

**【準備物】**

アサガオの株、バット、タブレット、植物図鑑、[観察カード、色鉛筆]、セロハンテープ、スライドガラス、顕微鏡、虫眼鏡、ピンセット、袋、モール(2色)、[ツルレイシの株、筆]